



はやま



平成28年(2016年)

3月号

No.552

3月の特集 防災

—あなたが守るもの—

葉山保育園の園児は「だんごむしポーズ」で自分の命を守ります



確定申告 … 8

春の全国火災予防運動 … 9

子育てひろば … 10

健康情報 … 12

教育委員会だより … 14

町からのご案内 … 16

でんごんぱん … 18

今月のお休み・人口 … 19

グリーンセンターから … 20

葉山いろいろ写真館 … 22

町長コラム … 23

葉山町新人演奏会 … 24

特集

防災

—あなたが守るもの—



防災意識をもう一度

東日本大震災から5年。震災直後の防災意識を、あなたは今も持っていますか？

地震以外にも、一昨年8月に起きた広島県での土砂災害、昨年9月の豪雨による鬼怒川の氾濫など、全国各地で様々な災害が起きています。

自然災害は、「必ず起こるもの」。そして「いつ起きてもおかしくない」「いつ起こるかわからない」ものです。

自分の命、そして家族の命を守ることを改めて考えてみませんか？

自分にあった防災を

葉山町は海や山などの自然に囲まれているため、様々な災害に備える必要があります。また、自宅が海に近いか山に近いか、家族構成などによってもそれぞれ備えるものは異なります。

この特集を通じ、「何に備えるべきか」、「何を備えるべきか」を考えてみましょう。災害への備えに「早すぎること」はありません。

災害別に身を守ろう

地震

最優先で自分の命を守ろう

地震発生直後は身体がこわばり、適切な判断が難しくなります。①まず低く（姿勢を低くする）②頭を守り（机の下にもぐる・頭の上にカバンを乗せるなど）③動かない（揺れがおさまるまで）を心がけましょう。揺れがおさまったら、火元の確認や出口の確保をします。

Q. 車に乗っていた場合はどうするの？

A. ハザードランプを点灯して徐々に減速し、車は道路の左側に停めてエンジンを切り、揺れがおさまるまで待機しましょう。

Q. 避難する前に自宅ですることは？

A. ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉め、火災や爆発などの二次災害を防ぎましょう。

台風や豪雨

日頃から気象情報を確認しよう

台風による大雨や暴風は、最新の気象情報などで、事前に確認することができます。しかし、集中豪雨は突然起こるものであり、日頃から身を守るための備えが必要です。

Q. 最新の気象情報はどうやって知るの？

A. 葉山町に気象警報が発表された場合は、町の防災行政無線で放送します（詳しくは6ページ）。また、テレビやラジオ、インターネットなどを活用し、情報を収集しましょう。

Q. 大雨で特に注意が必要な場所は？

A. ①冠水しやすい低地帯、②浸水しやすい地下室、③氾濫のおそれがある河川、④土砂災害のおそれがある山間部に気をつけましょう。

土砂災害

前兆に気付いたらすぐ避難！

葉山町には傾斜が急な山があり、台風や大雨などによって、崖崩れ・地滑り・土石流などの災害が発生する可能性があります。

Q. 土砂災害の前兆ってあるの？

A. 「崖や地面にひび割れが起きる」、「小石がパラパラと落ちてくる」、「湧き水や井戸の水、川が急に濁る」などの前兆現象があります。こうした前兆に気付いたら、周囲の人にも知らせ、すぐに安全な場所に避難しましょう。

Q. 町内で危険な箇所はどこ？

A. 町には急傾斜地の崩壊が136箇所、土石流63箇所（うち40箇所が特別警戒区域）、地滑り12箇所が「土砂災害警戒区域」に指定されています。

大雪

雪がやんでからも注意が必要

葉山町では雪が降る回数は少ないものの、2014年2月のように、一度降ると大雪になる可能性があり、注意が必要です。

Q. 大雪の予報が出たらすることは？

A. 外出しないで済むように食糧を備蓄し、停電に備えて、電気がなくても暖かい環境を準備しましょう。やむを得ず外に出る場合には、道路が滑りやすいため足元には注意し、自動車の利用は控えましょう。

Q. 雪がやんだらすぐに除雪して良いの？

A. 除雪や雪下ろしは、滑りにくい長靴などを履き、必ず二人以上で行います。晴れの日も屋根の雪が緩むので、落雪に注意しましょう。

防災に関する皆さんのお悩みにお答えします



非常用持出袋はなんとなく用意しているけど、2歳の子ども用には何が必要？
(むつみくんとお母さん)

非常用持出袋を再確認しよう

自宅の非常用持出袋が最新のものが確認しましょう。また、子どもがいる家庭はミルクや哺乳瓶、おむつ、ガーゼやハンカチ、おぶいひも、避難所で使えるおもちゃなども備え、オリジナル袋を作りましょう。

お悩みの方は
6ページ(1)へ



防災行政無線が聞きづらい時や外出先の町外から**町の最新情報**を知るにはどうすればいい？
(北川さん)

防災メールやツイッターの活用

防災行政無線の補完手段として、町では電子メール(空メールによる事前登録制)やツイッターでの情報発信をしています。町外にいる場合にも町に発令された警報等の情報を知ることができます。

お悩みの方は
6ページ(2)へ



昼間の災害だと、離れた場所にいる夫や家族とどうやって**連絡**をとればいいの？
(ななこちゃんとお母さん)

家族会議を定期的に関こう

災害時には回線が混み合い、電話やメールでの連絡がとりづらくなる場合があります。そんな時のために、日頃から災害時の連絡手段をどうするか、家族みんなで話し合う「防災家族会議」を開きましょう。

お悩みの方は
隣のページへ



避難所までの経路が急な階段になっているので、いざという時に安全に逃げられるかが不安。
(加藤さん)

地域の防災訓練で交流を図ろう

地域の防災訓練では、子どもから高齢者までが集まり、実際の災害を想定して、地域の特性にあった訓練を実施しています。また、町内会・自治会の訓練は、コミュニケーションの場としても活用できます。

お悩みの方は
6・7ページ(3・4)へ



自分の家がどんな災害に気をつけるべきなのかわからず、そのための準備も特にしていません
(谷吉さん夫婦)

防災講演会やガイドブックで

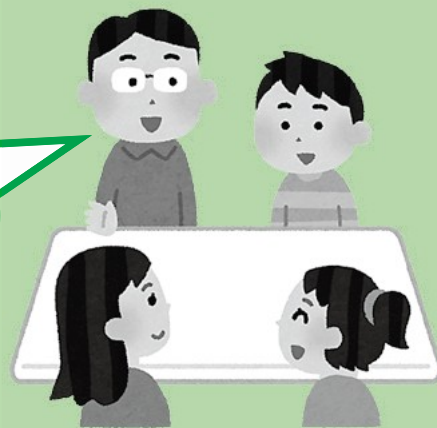
防災講演会では、「災害への備え」を専門家から学ぶことができます(今年は3月12日)。また、町が発行する防災ガイドブックやハザードマップなどにもお住まいの地域の状況が記載されています。

お悩みの方は
7ページ(5・7)へ

防災家族会議メモ

下のメモ欄に会議内容を記入し、
それぞれコピーを持ち歩こう

★スマホで写真を撮って持ち歩くのも◎



①みんなが昼間にいる場所と連絡先を確認しよう

名前	生年月日	会社や学校	電話番号	携帯電話番号	その他 (血液型や持病)

②避難場所・集合場所を決めよう

避難場所

集合場所

③災害時にも使える連絡方法を試そう（毎月1日・15日に体験利用可）

災害用伝言ダイヤル171

【伝言の登録】

171にダイヤルする→「1」を押す→自宅の番号を市外局番から押し、「1」、「#」を押す→30秒以内に録音し、「9」、「#」を押して完了

【伝言の再生】

171にダイヤルする→「2」を押す→自宅の番号を市外局番から押し、「1」、「#」を押す→録音されたメッセージが流れます

携帯電話の災害用伝言板

【伝言の登録】

携帯電話各社のポータルサイト上「災害用伝言板」から「登録」を選ぶ→伝えたい項目を書き込み登録

【伝言があるかを確認】

携帯電話各社のポータルサイト上「災害用伝言板」から「確認」を選ぶ→安否確認したい相手の電話番号を入力し検索

チェックしよう！災害への備え

(1) 非常用持出袋

《簡単チェック！》

- 懐中電灯 携帯ラジオ
- ヘルメットや防災ずきん
- 10円玉 乾電池
- 非常食 ペットボトルの水
- 常備薬や衛生用品
- 貴重品や衣類
- 生活用品(リップやティッシュ)
- 救急医薬品
- 最低3日分の備蓄食糧

《備蓄食糧のサイクル》

備蓄している食糧は、賞味期限が近くなってきたものから消費しつつ、その分をまた買い足すという「食糧のサイクル」を回すようにしましょう。その際、備蓄食糧を日常的に使用している食品にすることで、無駄のない備蓄ができます。

(2) 防災行政無線

町内全域で一斉に情報を伝達する防災行政無線ですが、原則として外に出たり、家にいる場合には窓を開けたりなどして聞くことを前提とした設計になっています。悪天候などで窓が開けられない、外の音が聞き取りにくい場合には次の方法をお試しください。

①テレホンサービス

☎0800-1800-17667
放送後1時間以内に電話をかけると無線の放送内容が流れます

②メールサービス

✉bousai-hayama-t@ktaiwork.
に空メールを送信してメールサービスに登録すると、放送時に内容が受信できます

③湘南ビーチFM

78.9MHzで割込み放送

④町HPトップページへの掲載

(3) 防災訓練への参加

頭では理解していても、いざという時に実際に動くことは難しいものです。そのため、訓練に繰り返し参加し、反射的に体が動くようにしましょう。町では、津波避難や初期消火訓練、炊出しや普通救命講習などの訓練を町内会・自治会と一緒に実施しています。



▲ 昨年町で行った防災訓練の様子

(6) 女性防火防災クラブ



町内の女性の皆さんが活躍されています！

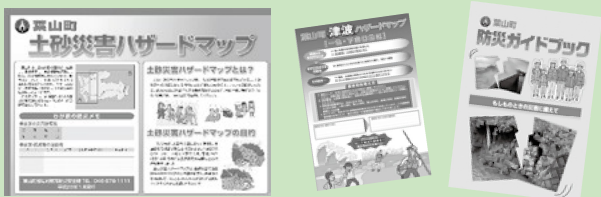
女性防火防災クラブは、町内会・自治会とともに地域に根ざした防火防災意識を啓発し、災害発生時の救援・救護や安全の確保に努める団体です。
消火器による初期消火訓練や普通救命講習、炊出し訓練などを実施し、昨年は東京ガス根岸工場や県総合防災センターを視察しました。
難しそう、厳しそうというイメージもあるかと思いますが、クラブみんなで協力しながら、和やかな雰囲気です活動しています。

(4) 町内会・自治会 自主防災組織



各町内会・自治会には自主防災組織があり、それぞれが災害に備えた防災資機材の備蓄などを行っています。災害時に必須となる知識を学ぶことが出来るので、ぜひお住まいの地域での訓練に積極的に参加しましょう。

(7) 防災ガイドブック



町では、「津波ハザードマップ」や「土砂災害ハザードマップ」、町の防災情報をまとめた「防災ガイドブック」などを作成しています。
ハザードマップとは、災害が想定される区域や避難所、避難経路等の身を守るために必要な情報を示した地図のことです。まだ持っていない人は、町役場2階の防災安全課までお越しください。
また、町HPからも見ることが出来ます。
問合せ 防災安全課
☎内線396

(5) 防災講演会 3月12日(土)

今年「葉山町に想定される災害に私たちはどう備えたら良いか」をテーマに、神奈川県災害対策課長の杉原英和さんをお招きして講演会を実施します。
費用は無料で、申込みも必要ありません。ぜひご参加ください。
日時 3月12日(土)
14時～15時30分
場所 保育園・教育総合センター
問合せ 防災安全課
☎内線396・397